

1、研究授業の様子◆

研究主題「生徒が生き生きと取り組み、豊かな国語の力をつける授業の創造」を設定して二年目。今年度は「豊かな国語の力」に着目して組み立てられた授業が多かった。本時として取り上げる教材（単元）だけでなく、それまでの日常的な指導や、教科書外からの二次教材の発掘など、授業者が「何を」身に付けさせたいのかというねらいが魅力的であった。全ての教科学習の根底を担う国語科として、「豊かな国語の力」とは何かを大きな視点から見つめ直すきっかけとなる研究授業であった。

2、分科会①について◆◆

学年ごとにレポート交流を行った。新教科書になり4年目。3年の1サイクルを終え、再び同じ教材に取り組む部会員が多い中、それぞれの教材研究が深められた交流となった。また「言語活動」として、どのような授業を組み立てていくのかという視点からも交流がなされ、非常に実りある時間となった。

3、分科会②について◆◆◆

学年ごと小グループに分かれて共同分析を行った。テーマは「教材分『幻の魚は生きていた』においてどのような言語活動を展開するか」。指導事項と授業者のねらいを明確にした上での「言語活動研究」がなされたが、どのグループからもユニークなアイデアが出され、国語科の授業の奥深さに改めて気づかされる時間であった。

4、アンケートより◆◆◆◆

- ・ 研究授業および分科会での新教材研究で今後役に立つ話し合いがなされ、参考になりました。新しいアイデアや視点が交流できて、よい時間でした。
- ・ 分科会②の新教材の分析、活動案の開発、楽しかったです。授業検討から分科会まで全員が発言し意見を言い合える雰囲気よかった。次年度もこのようにお願いします。
- ・ すばらしい研究授業で、生徒の生き生きとした取り組みが見られ感銘を受けました。それはとりもなおさず、先生のきめ細かい授業の構築に向けての研究の賜物と思います。先生方のレポートも大変興味深いものでした。参考にさせていただきます。
- ・ 午前の授業とその後の話し合い。また分科会②での活動から多くのことを学びました。自分の日々の授業を反省するとともに、今後、自分も取り入れてみたいと思う「お土産」をたくさんいただきました。